

中四国初※・官民一体の「インクルーシブ型保育園」設立へ 神石高原町 × だろんこ会、連携協定を締結 ～「にんげん力」を育む教育インフラの先進モデルに～

広島県神石高原町と社会福祉法人だろんこ会（本部：東京都渋谷区、理事長：安永愛香）は、2026年8月19日、「『こどもたちのにんげん力』を育むための連携に関する協定」を締結いたしました。本協定を受け2027年4月、中四国初※となる公私連携による「インクルーシブ型保育園（仮称：神石高原だろんこ保育園／発達支援つむぎ 神石高原ルーム）」を開所いたします。

※だろんこ会グループ実績に基づく



締結の様子（左から：安永理事長、神石高原町 入江町長、高堀代表、丹下工氏（株式会社MSERRNT 取締役）



（仮称）神石高原だろんこ保育園 × 発達支援つむぎ 神石高原ルームの施設外観

連携協定の背景 ～ 重なり合う三者の理念 ～

今回の協定締結式では、神石高原町、だろんこ会、そして本園舎建設の寄付者である同町栄誉町民の丹下大氏（たんげ・まさる／株式会社SHIFT 代表取締役社長・株式会社MSERRNT代表取締役）の代理として出席された丹下工氏（たんげ・たくみ／株式会社MSERRNT取締役）から、本プロジェクトへの熱い想いが語られました。



神石高原町役場で懇談する同4名

■ 神石高原町が掲げる「いのちの根っこを育む」理念との共鳴

神石高原町・入江嘉則（いりえ よしのり）町長は、「日本全体の大きなテーマである少子化の背景には、育児や子育てに対する不安も大きな要因として存在する。町では『こどもまんなか』いのちの根っこを育み、健やかでたくましい幹への成長を支える』町として各種施策を推進しており、町の目標とだろんこ会の理念が強く重なり合ったことが今回の協定につながった」と述べ、インクルーシブ保育への期待を語りました。

■ 「にんげん力」を育む保育を神石高原町の教育へとつなぐ

だろんこ会・安永愛香理事長は、インクルーシブ保育の実績を踏まえ、「『感情のコントロール力』と『人と関わる力』を就学前に育み、次代の担い手である子どもの「生きる力」を高めていく町の教育へしっかりつなげていきたい。将来的には町の豊かな農地を生かし、生産者の顔が見える安全な給食食材の自給自足も目指す。この町の様々な取り組みが広島県全体を牽引していくことができるよう、全力を尽くす」と決意を述べました。

主な協定内容：

- ・ インクルーシブ保育・教育の実践と普及啓発に関する事項
- ・ こども・子育て支援に関する事項
- ・ 障害児福祉に関する事項
- ・ 施設等の相互活用に関する事項
- ・ 上記に関する研修等、相互の学び合いと共創に関する事項



「にんげん力」を育むだろんこ会の保育（イメージ）



保育園を、地方から日本を変える「教育インフラ」へ

■「地方から日本を変える」新たな教育インフラとして

丹下工氏は、実弟で園舎建設寄付者の丹下大氏と共に社会のあり方を真剣に考え、株式会社MSERRNTを立ち上げた人物です。人口減少が進む地方の課題に触れ、「移住を促進し町を活性化させるには『雇用・医療・教育』のインフラが不可欠。本施設が単なる保育園にとどまらず、神石高原町から日本全国へ発信される『教育インフラ』の先進モデルとなしてほしい」と強い期待を寄せました。

(仮称) 神石高原どろんこ保育園 × 発達支援つむぎ 神石高原ルームの特徴



全ての子どもが共に育つインクルーシブ保育



木のぬくもりを存分に感じられる園舎

1. 壁のない「完全併設型」インクルーシブ保育

認可保育園と児童発達支援事業所を一つ屋根の下で運営し、どろんこ会ならではの「保育・教育・発達支援」を一体的に提供します。障害の有無に関わらず全ての子どもが共に暮らし関わり合う中で、「感情のコントロール力」や「人と関わる力」など共生社会の礎となる「にんげん力」を育みます。

2. 地域の様々な方と直接関わる教育と自給自足への挑戦

神石高原町の大自然や、地域の様々な方々と直接関わるができる教育を積極的に取り入れます。また、町の豊かな農地を活用し、農薬を使わない安全安心な給食食材を用いた給食の自給自足を目指すなど、この土地ならではの循環型農業にも挑戦してまいります。

3. 木の温もりあふれる扇形の美しい園舎

丹下大氏による寄付のもと整備された現在の「神石高原町立こばたけ保育所」の園舎（2024年4月落成）を引き継ぎ、運営いたします。大きな窓から自然光が差し込む扇形の構造が圧倒的な開放感を生み出すとともに、床や壁には木材を贅沢に使用。子どもたちが伸び伸びと過ごせる環境です。

施設概要

- ・ 名称 : (仮称) 神石高原どろんこ保育園／発達支援つむぎ 神石高原ルーム
- ・ 運営形態：公私連携型保育園／児童発達支援事業所
- ・ 開設予定：2027年4月
- ・ 所在地 : 広島県神石郡神石高原町小島2694番地1

本施設は、自治体と民間事業者が互いの強みを掛け合わせた「公私連携型・民設民営保育所」として運営します。質の高い保育・教育・発達支援を通じて、神石高原町における確かな子育て基盤の構築に貢献してまいります。



公私連携：自治体と連携協定を結び、公立園が担ってきた地域支援機能を引き継ぎ、手厚い体制を整備します。

民設民営：施設整備から日々の運営までを事業者が担い、民間ならではのノウハウを活かした柔軟な保育環境を提供します。

どろんこ会グループについて

- 理念：「にんげん力。育てます。」
- 事業内容：保育事業、児童発達支援事業、就労支援事業、農業、研修事業、旅行事業 ほか
- グループ内法人：社会福祉法人どろんこ会、株式会社日本福祉総合研究所、社会福祉法人愛育会（理事長 代表取締役 安永愛香）
株式会社ゴーエスト、株式会社南魚沼生産組合、株式会社Doronko Agri（代表取締役 高堀雄一郎）
- 施設数：約200施設 ● 職員数：約3,000人 ● 利用者数：約10,900人（以上2026年5月現在）
- HP : <https://www.doronko.jp>

Doronko

【本リリースに関するお問い合わせ】

どろんこ会グループ（東京都渋谷区渋谷1-2-5 MFPR 渋谷ビル13F）

広報部 小出 TEL：03-5766-8059 Email：koho@doronko.jp